

障害者ら移動販売

前橋の施設、団地の高齢者ら向け

前橋市天川大島町の障害者就労支援施設「よろず屋寒春・赤城高原ミート」で働く知的障害者らが20日、前橋市北部の高花台団地で、移動販売車に積んだ手作りの総菜などを初めて販売した。交通手段がない団地の高齢者らの役に立ち、仕事の場も広がる「一石二鳥」を狙った試みだ。

「よろず屋」は社会福祉法人「上州水土舎」（富岡市後賀）が2010年に開店。知的障害者らがコロッケ作りや精肉のパック詰めをし、ハム・ソーセージなどを販売している。

移動販売車には約50品目をそろえ、事前にチラシを回覧してもらった。屋前に販売を始めると、お客さんが1人、2人とやってきた。

ダイコンなどを買った73歳の女性は一人暮らし。スーパーが8年ほど前に撤退

して以来、食品などは別の場所に住む子どもとの車でまとめ買いしているという。「助かります。これからも利用したいですね」

移動販売は27日も行い、12月から毎週金曜日に販売する。職業指導員の福岡直哉さん(27)は「障害がある人たちが外で働く機会になれば、団地の人に知ってもらい、広げていきたい」と話した。

(泉野尚彦)



団地近くの駐車場で販売。売れると「ありがたうございます」と元気な声が上がった。前橋市高花台2丁目